

7 月 図書館だより

瑞穂野中学校



夏休みを有効に活用しよう！

ぜひ図書館に足を運んで下さい！！

☆7/17(火)～夏休み特別貸出(5冊)となっています。新刊もたくさん揃えてお待ちしております！！

『ビブリオバトル No.1 決定戦Ⅱ』



7/4(水)の全校朝会にて『ビブリオバトル』が行われました。バトルの4名は、緊張しながらも聴衆に伝えるよう内容を工夫し、時間いっぱいやり遂げようとする姿が印象的でした。またスペシャルゲストとして副校長先生にも参加していただき、発表者・聴衆共に大変有意義な時間となりました。

全校生徒の投票の結果、(3-3)佐々木美羽さんの『すべての神様の十月』が見事チャンプ本に選ばれました。おめでとうございます！20(金)に表彰が予定されています。

夏休みも開館しています。

午前9時00分 ～ 午前11時00分

月	火	水	木	金
7/23	24	25	26	27 開館日
30 開館日	31 開館日	8/1 開館日	2	3 開館日
6	7	8 開館日	9	10 開館日
20	21 開館日	22 開館日	23	24 開館日
27	28	29 登校	30	31

☆☆☆図書館開館日カレンダー☆☆☆



素敵な本袋が出来ました！



2年生の宮っ子チャレンジウィーク中、事業所がお休みのため学校に来ていた2年生に、本を持ち運ぶことのできる本袋を作ってもらいました。作り方を覚え、2個目に入る生徒も！プレゼント用の袋としても使えますね。



お家にある包装紙でも作ってみてね！

今後もより良い図書館を目指し、書架を増やし環境を整備するための作業を7月中に行う予定です。夏休みの開館日がやや少なくなりご迷惑をおかけしますが、開館日はカレンダーの通り **10日間**となります。ぜひ、読書や学習に利用してください。

夏休み用図書返却日

※ 借りた本は夏休み明けの8/31(金)まで持っていていいです。



感想文を書いてみよう！



第64回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／内閣府・文部科学省 協賛／サントリーホールディングス株式会社

第64回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書について、夏休みを前に全クラスを対象として国語の授業時に本の紹介をさせていただきました。3年生には高校用図書についても触れたところです。図書館にも一冊ずつあり、どれも読みやすい本ですので、興味がある人は、ぜひ、読書感想文に挑戦してみましょう！

書名	一〇五度	著者	佐藤 まどか	出版社	あすなろ書房	定価	¥1,512(税込)
中学生の2人が組んで、イスのデザインコンクールに挑むことになった。 ひたむきに制作にとりくむ少年たちを描く。 イス作りには反対の父親にいらだちをぶつけるものの反発しきれない気持ちなど、同じ中学生として共感できる部分があるのでは。祖父の『イスの背もたれの角度となる一〇五度は、人がお互いに寄りかかるのにもちょうどいい角度。』との言葉も響く。(可書)							
① 							
書名	太陽と月の大地	著者	コナヤ・D・ス=カハ・イ	出版社	福音館書店	定価	¥1,728(税込)
16世紀スペイン。キリスト教徒の娘と、幼馴染のイスラム教徒の少年の間には、 淡い恋が芽生えるが…。宗教や民族の違いによって引き裂かれ、翻弄される人々を描く。 今も世界各地でおこっている宗教・民族間の対立の根源。主人公たちのように民族や宗教を越えて冷静に判断しようとする者もいたが、対立が続く末には、過激な意見が大勢を占めていく現実があった。ささやかな日常が壊されていく悲しいスペインの歴史を知る物語。(可書)							
② 							
書名	千年の田んぼ：国境の島に、古代の謎を追いかけて	著者	石井 里津子	出版社	旬報社	定価	¥1,620(税込)
日本海の荒波に浮かぶ山口県・見島。小さな島になぜこれほど広大な水田が？ その謎を追いかけて見えてきたのは“日本最古の田んぼ。の可能性だった！ 山口県の見島が舞台（本州山口県から日本海を隔てて浮かぶ島）。狭い島内には、棚田が多数見受けられ、島のあちこちに小さなため池があるのも特徴的。日本最古の田んぼはいったい誰が何のために作ったのか、様々な資料や地元の話、取材を元に謎を解いていく。(可書)							
③ 							

こんな本もあわせて紹介しました



- 『職場体験完全ガイド8』 (ポプラ社)
- 『国際理解に役立つよくわかる世界の宗教
キリスト教/イスラム教』 (岩崎書店)
- 『目で見える宗教』 (さ・え・ら書房)
- 『棚田』 (講談社)
- 『お米は生きている』 (講談社)